

令和3年度 鴨居小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

授業や行事、様々な教育活動において、自他を大切にする心情、態度やコミュニケーションの力を育てます。

児童の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

- ・子どもたちは、人の気持ちを考えて行動しようと努めており、友達や家族・地域の方々とのつながりを大切にしようとしている。
- ・自分のよさを見つけ、道徳的価値は理解しているが、行動に表せないことも多い。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。
- ・「たてわり」活動を通して、異年齢集団の中で自他を認め、思いやりの心や協力する心を育てていく。
- ・家庭や地域との連携を図り、多くの人と関わる環境を大切にしながら、コミュニケーションの力を育てていくようにする。



指針1 「特別の教科 道徳」の充実

- 道徳研修会・授業研究会の実施
 - ・研修会を通して、道徳の時間の指導力向上を図る。
- 全学級の道徳の授業を、家庭・地域に(年1回以上)公開する。
 - ・授業公開後、懇談会等で道徳教育や道徳の時間について話題にし、家庭と共通理解、連携を図って指導にあたる。
- 道徳教育について、家庭や地域に発信
 - ・道徳の教科化に伴い、学習として「かがやき」への文章表記を行ったり、学校HPや学校便りを通して、家庭や地域に発信したりして、意識の共有を図るとともに連携して子どもを育み、家庭・地域の指導力を道徳の時間に生かす。また、子どもの実態把握を随時行い、道徳の時間に生かす。

指針2 体験活動の充実

- 「たてわり活動」「なかよし学年」活動の充実
 - ・従来の異学年交流を大切にしつつ、さらに交流を広げる1年から6年のたてわり活動「いいかも班」を計画的に実施する。異年齢集団活動を通して、思いやりの心や、協力性・自主性などを引き続き育てていく。